

「マーケットの^法読み・^法読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫



◇◆◇ No.0872 ◇◆◇

25/12/24

【 2025 年の為替・金融業界 10 大ニュース 】

今年も本日を含め残り 8 日、今年最後の当レターです。そこで今回は、年末恒例である筆者の独断と偏見で選出した今年一年の「為替・金融業界 10 大ニュース」を報じてみたい。読者の皆さんと考えるニュースは果たしてランクインしているだろうか。

◎今年は各国が「政治的な大変革期」、来年も!?

まずは筆者の考える「為替・金融業界 10 大ニュース」を以下すべて列挙、そのあとで簡単な解説や講評などを記してみたい。

- 1; 日経平均株が初の 5 万円台を記録、NYダウやNASDAQ総合など米株も最高値更新
- 2; 米国でトランプ大統領ならびに同政権が誕生、実施した「相互関税」めぐり世界中がパニックに
- 3; 日本で初めての女性首相、高市首相・政権が誕生
- 4; FRB が 3 会合連続の 0.25% 利下げを実施、米金利誘導目標は 3.50-75% に
- 5; クロスを中心とした円安進行が目に付く、ユーロ/円は史上最高値を一時更新
- 6; 7 年ぶりに米政府機関の閉鎖が発生、閉鎖期間は過去最長の 43 日間を記録
- 7; 日銀が利上げを実施し政策金利は合計 0.75% に、30 年ぶりの高水準
- 8; 高市首相の「台湾有事」発言もあり、日中関係が過去最悪レベルに悪化
- 9; ドイツ、フランス、カナダなどでも国のトップ、首相が交代
- 10; 日米、糾余曲折を経たのち車などは 15% 関税で決着

番外;「暗号資産(仮想通貨)ビットコインが続伸し最高値更新、一時 12 万ドル台」、「新ローマ教皇が誕生、米国出身のレオ 14 世が教皇に」、「大阪・関西万博が開催される」、「参院選で与党(自公)が過半数割れ」、「公明党が連立与党から離脱」、「日本の今夏の平均気温は過去最高に」、「韓国で尹大統領が罷免される、李政権誕生」、「日鉄による US スチール買収完了」、「北川進・京都大特別教授ら 2 氏がノーベル賞を受賞」、「長嶋茂雄さん、橋幸夫さん、仲代達矢さんなど著名人の訃報相次ぐ」、「コメ価格高騰、政府は備蓄米の放出も」、「日本でクマの被害相次ぐ」、「鹿児島トカラ列島で震度 6 弱、青森県東方沖で震度 6 強など大地震を何度か観測」——(順不同)。

——今年は色々なニュースが盛りだくさんの「百花繚乱」状態。なかでも目を引いたのは大きく 3 つ、すなわち「政治・国際情勢」、「金融市場の動向」そして「自然・環境問題」——ということになるだろう。「酷暑」や「コメ問題」や「クマの被害」、「大地震発生」といった「自然・環境問題」も、2025 年を語るうえで外せない特筆する事象だった気はするが、やはりなんといっても今年ぐらい「政治・国際情勢」が混乱をきたした年は珍しいのではなかろうか。前述したように、日米で国のトップが変わっただけでなくドイツ、フランス、カナダでも首相の交代が起こっており、いわゆる G7 において政権が年間を通してほぼ盤石だったのはイタリアだけだった、という体たらく。そして、来年も米国で中間選挙が実施されるなど、やはり「政治・国際情勢」には要注意という気がしないでもない。

一方、前述したようなゴタゴタ続きの「政治・国際情勢」もあってか、金融市場は総じて年間を通してかなりの大相場。ドル/円も決して小動きではなかったが、それよりもユーロ/円がユーロ誕生以来の最高値(円は最安値)を記録したというのは、印象深い出来事のひとつだったと言えそうだ。

とは言え、今年はそれ以上の「強敵」が存在。為替関連のニュースは 5 位にとどめざるを得なかった。対して、飽くまで個人的な主觀としては 1 位に選んだ「日米株価」、とくに日経平均株価の 5 万円越えは今年もつとも記憶に残る出来事になる。そんな株価はさらなる続伸を期待したいところだが、先週レポートしたように、来年の干支が「午(ウマ)」であるところは少し気掛かり。相場格言で言うなら、「午尻下がり」と言われるだけに、2026 年はむしろ反落に要注意という気もしないではない。

最後に、これは今年に限ったことではなく、むしろここ数年同じような話を繰り返している気もするが、今年はなかなか明るい事柄が少なかったのは非常に残念。

もちろん、米大リーグにおいて大谷翔平選手が様々な活躍を見せたほか、日本でも阪神タイガースが史

上最速で優勝するなどの出来事はあったが、トータル的には少し寂しい一年だったと言えよう。こうした意味で言えば、2026年は年明けの早い段階から「ミラノ・コルティナ冬季オリンピック」が開催されるうえ、6月には「サッカーのワールドカップ」も実施される見通しだ。日本を明るくする一助になるという面も含め、2026年もスポーツにおける選手たちの活躍を祈念しつつ、今年一年を締めくくりたい。(了)

——末筆になりましたが、当稿が今年最後のレターとなります。今年も御愛読ありがとうございました。来年が皆さまにとって良い一年でありますように。なお、来年の原稿は1月7日付から。よろしくお願ひ申し上げます。

Three black diamond symbols arranged horizontally.

Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved

Three black diamond icons arranged horizontally, indicating a continuation or next page.